

災害リハビリテーション支援のための生活機能トリアージ・災害診療記録アプリケーションシステム開発に向けた研究

広島大学 三上 幸夫（2025年度～2026年度）

研究開発目的

本研究では、大規模災害時の被災者の生活機能低下や災害関連死を予防するために、速やかに生活機能の低下を把握できる災害診療記録アプリケーションの開発を行う。さらに、作成したアプリケーションシステムの社会実証実験を行う。

取り組み

文献検索による質的レビューによって生活機能トリアージ項目の整理・分析と災害診療記録（生活機能版）案の作成を行う。その後に、他の災害医療チームと共に RAND/UCLA Delphi法を用いた横断調査を行い、生活機能トリアージ項目の決定と災害診療記録（生活機能版）を完成させる。これらの結果を踏まえ、災害診療記録アプリケーションシステムを作成する。作成したアプリケーションを避難所訓練にて実証実験し、実行可能性と妥当性検証を行う。

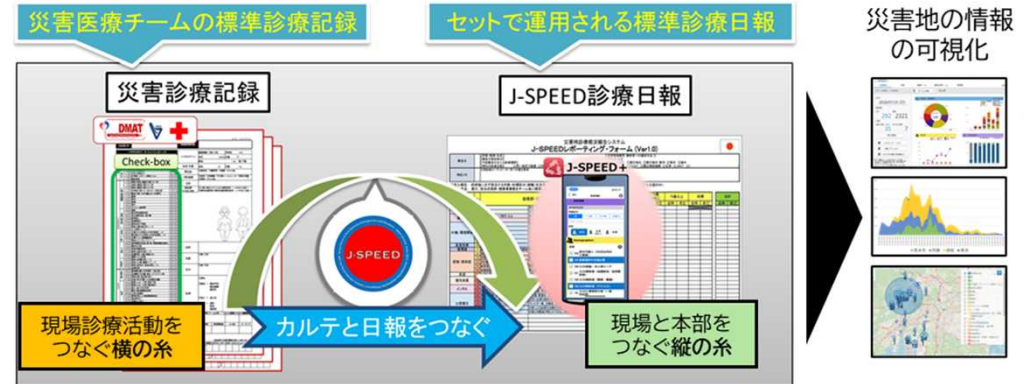
成果

質的レビューの結果、12論文が採択され、この結果を基に生活機能トリアージ項目と災害診療記録（生活機能版）案を作成した。

今後の展開

災害医療チームと協力して生活機能トリアージ項目案と災害診療記録（生活機能版）案の適切性について評価し、その結果を基に災害診療記録アプリケーションシステムを作成する予定である。

災害医療の包括的な評価指標と情報連携システム（J-SPEED+）



- 全救護班からデータ収集・集計し、医療ニーズの総量・種類・地理分布・推移を把握
- データに基づく派遣調整が可能
- スマホアプリでのデータ収集で「簡単入力」「迅速把握」「早期介入」が可能
- **生活機能のトリアージ項目と災害診療記録はない**

本研究により達成したいこと

生活機能トリアージシステム概要

